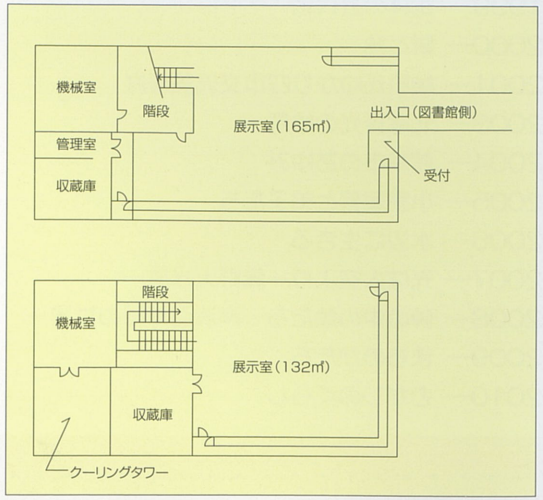
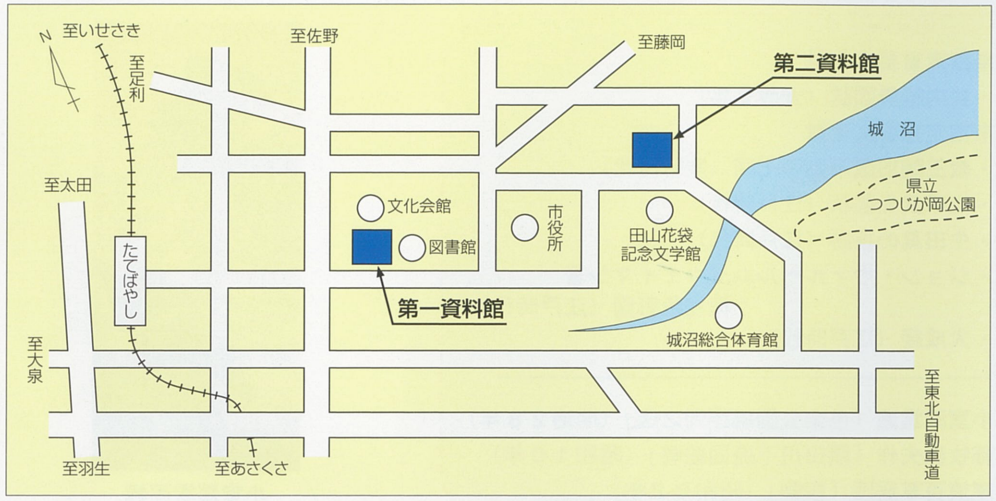
◆施設概要

位　　置　館林市城町3-1
構　　造　鉄筋コンクリート造2階建
規　　模　敷地面積311.19㎡
　　建物面積285.93㎡
　　建物延面積516.93㎡
施設内容　展示室297㎡
　　収蔵庫58.13㎡
　　機械室他161.8㎡
総 工 費　91,667千円

◆建物平面図



〈案内図〉



東武伊勢崎線館林駅下車（徒歩15～20分）

◆利用案内

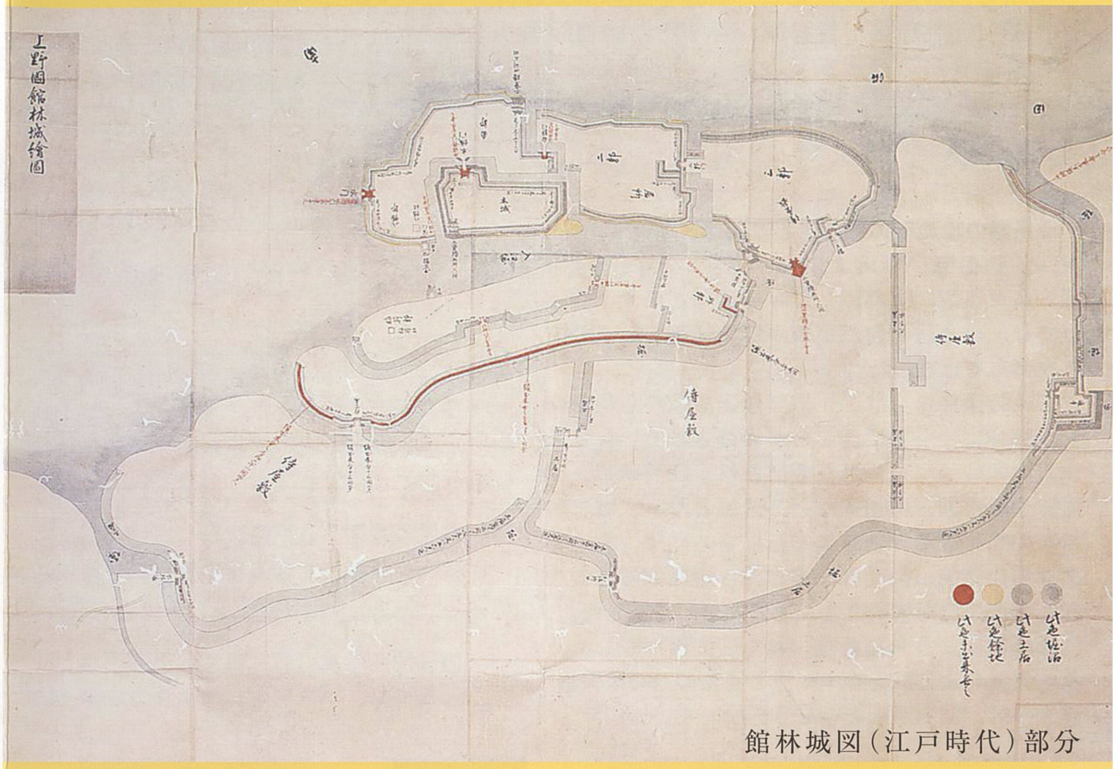
開館時間　午前9時～午後5時
　　（入館は午後4時30分まで）
休 館 日　月曜日・祝日の翌日・年末年始
入 館 料　無料

◆お問合せ

〒374－0018　群馬県館林市城町3－1
館林市教育委員会　文化振興課
ＴＥＬ：0276（74）4111（文化会館内）



館林市第一資料館



館林城図（江戸時代）部分

利用のご案内

資料館のあゆみ

■昭和 52 年 10 月

館林市立図書館の併設施設として、郷土資料の保存と展示を目的とした郷土資料館を建設。

■昭和 53 年 11 月

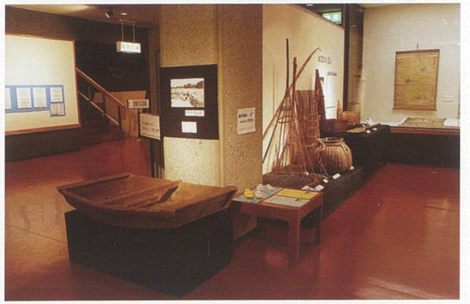
郷土資料館開館。

■昭和 56 年　4 月

市立図書館より独立し、名称を館林市立資料館（館林市第一資料館）とする。図書館より郷土資料を移管する。

おもな特別展

—1985— 榊原康政展
—1987— ささら展
—1988— 近世館林藩の大名
—1990— 小室翠雲展
—1991— 館林藩と戊辰戦争
—1993— 中世館林城と戦国武将
—1994— 秋元家の歴史と文化
—1995— 藤牧義夫展
—1996— 近世後期館林城
—1997— 利根川流域の古墳と埴輪
—1998— 岸浪柳渓・岸浪百草居展
—1999— 館林の近代化
—2000— 絣と紬
—2001— 榊原氏ゆかり四市交流美術展
—2003— 北尾重光の絵馬
—2004— 館林市のあゆみ
—2005— 小室翠雲と弟子たち
—2006— 水辺に生きる
—2007— 光は大空より－藤野天光展－
—2008— 艸の中の魚たち－岸浪百草居の世界－
—2009— まちのかたち
—2010— むかしのくらし



特別展「水辺に生きる」

伝えていきたい……過去・現在・未来

群馬県の東南端に位置する館林は、標高 20 メートル前後の低い台地上にあります。市内には城沼・多々良沼・近藤沼・茂林寺沼などの大小の沼があり、そうした自然環境が館林特有の歴史や文化を育んできました。

古代の遺跡からは、１万年以上も前から祖先たちが館林に住んでいたことが実証されています。また戦国時代に築かれた館林城は、江戸時代、榊原家や松平家、徳川家などの居城となり、城下町特有の文化を開花させました。さらには、明治の文豪田山花袋、南画家小室翠雲、版画家藤牧義夫など多くの芸術家や文化人を輩出してきました。

資料館はこうしたわたしたちの先祖が残してくれた貴重な文化財を未来へ伝えるため、収集保存、調査研究、展示活用を行なう施設です。

おもな収蔵資料

◇

・飯塚多右衛門コレクション
…昭和初期収集の考古資料 4, 808 点

◇

・館林城絵図（江戸時代）
・榊原康勝墓出土伊万里小壺（江戸時代）

◇

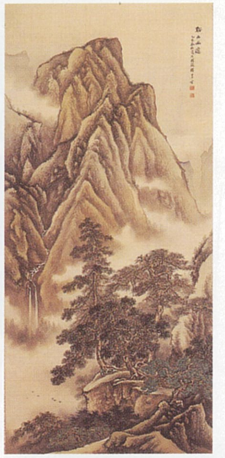
・内陸漁撈用具（多々良沼・近藤沼など）
…日向舟、ハズアミ、ウナギカキ等 44 点

◇県指定重要文化財
・封内経界図誌（安政２年）

◇市指定重要文化財
・教王院旧蔵不動明王図（室町時代）
・松平武元書状（江戸時代）
・生田萬の書跡（江戸時代）
・ジョン・ウィルヘルム・ウェイマン著
植物色彩図（江戸時代）
・大成経（江戸時代）

◇

・小室翠雲画「邑楽公園躑躅岡之図」（明治２８年）
・藤牧義夫作「隅田川下流図絵巻」（昭和１０年）
・岸浪百草居画「桜鯛」（昭和２２年）



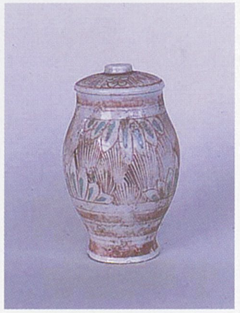
小室翠雲画幅
「渓山幽遂図」（明治３８年）



市内渕ノ上古墳出土品
（古墳時代）



市指定重要文化財
不動明王図（室町時代）



榊原康勝墓出土
伊万里小壺（江戸時代）



県指定重要文化財
封内経界図誌（安政２年）



岸浪百草居画幅
「桜鯛」（昭和２２年）